2023年3月期
第2四半期 決算説明

実績、業績予想

2022年10月28日

株式会社日清製粉グループ本社

目　次

1. 第2四半期 実績
2. セグメント別 実績分析
3. 営業外損益・特別損益（実績）
4. キャッシュ・フロー計算書（実績）
5. 2023年3月期 業績予想

1．第２四半期 実績①

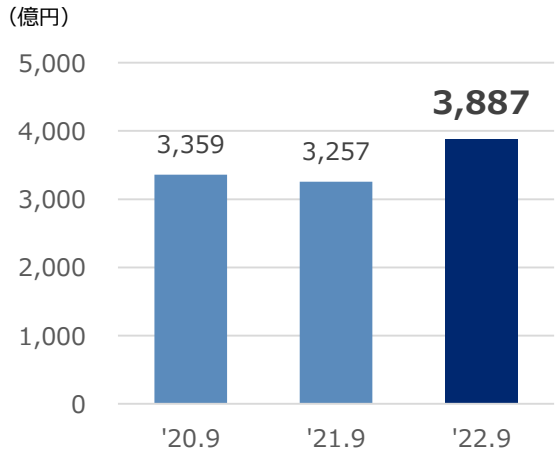
※金額は百万円未満切り捨て

（単位：百万円）	前年実績	2023年3月期 第2四半期 実績	前年差	前年比	業績予想差 (5月公表)	業績予想比 (5月公表)
売上高 （うち、海外売上高）	**325,727** **(86,373)**	**388,742** **(126,760)**	+63,014 (+40,386)	+19.3% (+46.8%)	+18,742 –	+5.1% –
製　粉	147,213	201,881	+54,667	+37.1%	–	–
食　品	90,607	92,486	+1,878	+2.1%	–	–
中食・惣菜	68,333	73,285	+4,952	+7.2%	–	–
その他	19,572	21,089	+1,516	+7.7%	–	–
営業利益 （うち、海外営業利益）	**15,568** **(2,460)**	**15,919** **(3,990)**	+351 (+1,530)	+2.3% (+62.2%)	+919 –	+6.1% –
製　粉	4,441	7,117	+2,675	+60.2%	–	–
食　品	7,193	4,066	▲3,126	▲43.5%	–	–
中食・惣菜	1,504	1,638	+134	+8.9%	–	–
その他	2,354	3,050	+696	+29.6%	–	–
調整＊	74	45	▲28	–	–	–
経常利益	**17,425**	**17,220**	▲204	▲1.2%	+1,720	+11.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	**9,957**	**▲37,795**	▲47,752	–	▲46,795	–

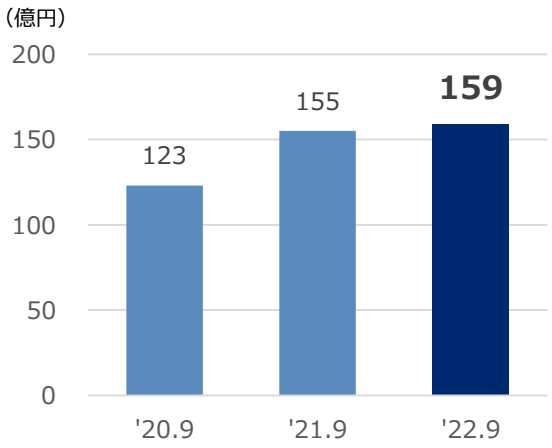
＊セグメント間取引消去等

1．第２四半期 実績②

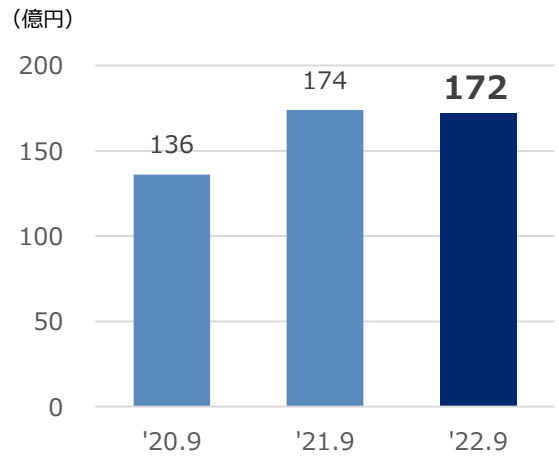
売上高



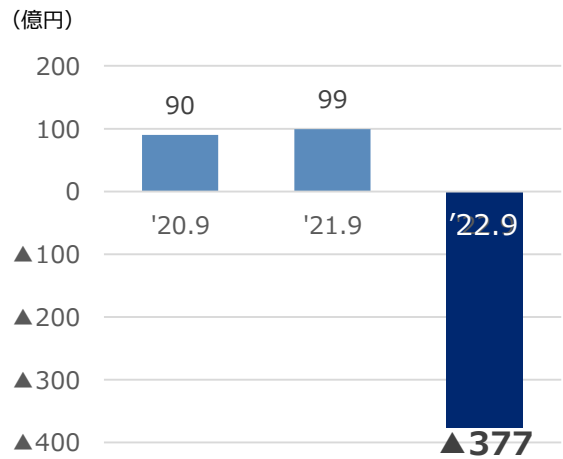
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



※金額は億円未満切り捨て

- 売上高は、国内製粉事業の麦価改定に伴う小麦粉価格改定の実施、海外製粉事業の小麦相場上昇や為替換算の影響、中食・惣菜事業の順調な売上等により、増収
- 営業利益は、国内製粉事業のふすま価格の堅調な推移、海外製粉事業の好調な業績等により、増益
- 四半期純利益は、豪州製粉事業において、豪州の厳格なコロナ対策の影響による市場の変化等を踏まえ、事業計画を再検証した結果、減損損失を計上したことにより、赤字

売上高	：前年比	＋19.3%
営業利益	：同	＋ 2.3%
経常利益	：同	▲ 1.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	：同	－

2. セグメント別 実績分析①

売上高分析（前年差）

（単位：億円）

製 粉　＋547億円

国内小麦粉出荷（出荷前年比98.9%）	▲ 8
麦価改定に伴う粉価改定他	＋156
ふすま価格	＋ 7
海外売上高	＋392

食 品　＋ 19億円

加工食品売上	＋30
家庭用小麦粉売上	▲ 3
プレミックス売上	＋ 3
パスタ関連売上	＋ 7
冷凍食品売上	＋ 1
加工食品海外売上	＋15
その他	＋ 7
オリエンタル酵母工業売上	＋ 2
日清ファルマ売上	▲13

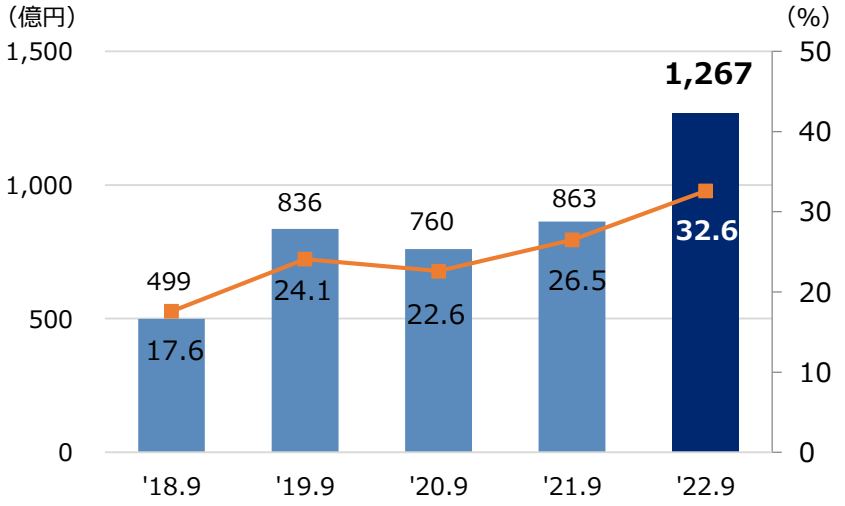
中食・惣菜　＋49億円

中食・惣菜売上	＋49

その他　＋15億円

NBCメッシュテック売上	＋ 4
設備工事売上他（日清エンジニアリング他）	＋11

【参考】海外売上高　＊折れ線は海外売上高比率



2. セグメント別 実績分析②

営業利益分析（前年差）

（単位：億円）

製 粉 ＋27億円

国内小麦粉出荷数量	▲ 2
拡販施策費	▲ 2
ふすま価格	＋ 6
コスト関連	＋ 1
海外営業利益	＋24

食 品 ▲31億円

出荷数量	▲ 7
拡販施策費	▲ 1
コスト関連	▲13
海外営業利益 （オリエンタル酵母工業、日清ファルマ輸出含む）	▲10

中食・惣菜 ＋ 1億円

売上	＋ 9
コスト関連他	▲ 8

その他 ＋ 7億円

売上	＋ 5
コスト関連他	＋ 2

調整 ▲ 0億円

セグメント間取引消去等	▲ 0

3. 営業外損益・特別損益（実績）

（単位：百万円）

	前年実績	2023年3月期 第2四半期 実績	前年差	備考
【営業外損益】 金融収支尻	49	▲21	▲ 71	
持分法による投資利益	1,498	632	▲865	配合飼料関連会社利益減少
その他	309	690	＋381	為替差益
営業外損益収支	1,856	1,301	▲555	

【特別損益】 投資有価証券売却益	648	206	▲441	
減損損失	－	▲55,836	▲55,836	豪州製粉事業の業績悪化に伴う減損
その他	▲393	▲358	＋ 35	
特別損益収支	255	▲55,987	▲56,242	

※金額は百万円未満切り捨て

4．キャッシュ・フロー計算書（実績）

（単位：億円）

	前年実績	2023年3月期第2四半期 実績	2023年3月期第2四半期 主な内容	前年差	
現金及び現金同等物の期首残高	591	687		+95	手許資金* 707
営業活動によるＣＦ	293	▲18	税金等調整前四半期純損失 ▲387 減価償却費 ＋115 減損損失 ＋558 運転資金の増加 ▲249 法人税等の支払額 ▲73	▲312	
投資活動によるＣＦ	▲84	▲67	設備投資（支払いベース）▲89	＋17	
財務活動によるＣＦ	▲105	▲12	配当金支払額 ▲59 短期借入金(運転資金目的)の増加 ＋66	＋93	
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲5	17		＋23	
現金及び現金同等物の四半期末残高	688	606		▲81	手許資金* 606

＊手許資金：３ヶ月超預金、運用債券も含める

	前年実績	2023年3月期第2四半期 実績	前年差	主な内容
設備投資（工事ベース）	81	83	＋ 1	
減価償却	111	115	＋ 3	

※金額は億円未満切り捨て

5．2023年3月期 業績予想①

- 売上高は、上期実績と同様の影響が継続し、増収を見込む
- 営業利益は、国内製粉事業のふすま価格の堅調な推移、海外製粉事業の好調な業績や豪州製粉事業での減損実施による償却費負担の減少により、増益を見込む
- 当期純利益は、下期に投資有価証券売却による特別利益計上を見込むものの、豪州製粉事業において減損損失を計上したことにより、赤字
- 業績予想は、10月19日に公表済。営業利益、経常利益は上方修正、当期純利益は下方修正を実施

※金額は百万円未満切り捨て

（単位：百万円）	前年実績	2023年3月期 業績予想	前年差	前年比	業績予想差 (5月公表)	業績予想比 (5月公表)
売上高	**679,736**	**780,000**	**＋100,263**	**14.8%**	**＋20,000**	**＋2.6%**
うち海外売上高 (海外売上高比率)	185,890 (27.3%)	242,500 (31.1%)	＋56,609	＋30.5%	＋15,000	＋6.6%
営業利益	**29,430**	**33,000**	**＋3,569**	**＋12.1%**	**＋3,000**	**＋10.0%**
うち海外営業利益 (海外営業利益比率)	3,875 (13.2%)	8,400 (25.5%)	＋4,524	＋116.7%	＋3,600	＋75.0%
経常利益	**32,626**	**35,000**	**＋2,373**	**＋7.3%**	**＋4,000**	**＋12.9%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**17,509**	**▲18,500**	**▲36,009**	**－**	**▲37,000**	**－**

5．2023年3月期 業績予想②

セグメント別　売上高

（単位：億円）

	業績予想	前年差
製　粉	4,010	+875
食　品	1,920	+ 90
中食･惣菜	1,450	+ 66
その他	420	▲ 28
合　計	7,800	+1,003

（単位：億円）

製　粉　+875億円

国内小麦粉出荷（出荷前年比99.5%）	▲ 8
麦価改定に伴う粉価改定他	+317
ふすま価格	+17
海外売上高	+549

食　品　+90億円

加工食品国内売上	+68
加工食品海外売上	+21
オリエンタル酵母工業売上	+30
日清ファルマ売上	▲29

中食･惣菜　+66億円

中食･惣菜売上	+66

その他　▲28億円

ＮＢＣメッシュテック売上	+15
設備工事売上他（日清ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ他）	▲43

5．2023年3月期 業績予想③

セグメント別　営業利益

（単位：億円）

	業績予想	前年差
製　粉	163	+77
食　品	80	▲44
中食･惣菜	33	+ 2
その他	53	+ 1
調　整*	1	▲ 0
合　計	330	+36

＊セグメント間取引消去等

（単位：億円）

製　粉　+77億円

国内小麦粉出荷数量	▲ 1
拡販施策費	▲ 4
ふすま価格	+17
コスト関連	▲ 6
海外営業利益	+71

食　品　▲44億円

出荷数量	▲10
拡販施策費	▲ 1
コスト関連	▲ 8
海外営業利益 （オリエンタル酵母工業、日清ファルマ輸出含む）	▲25

中食･惣菜　+ 2億円

売上	+12
コスト関連他	▲10

その他　+ 1億円

売上	▲ 2
コスト関連他	+ 3

記載内容に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。